

これさえ読めば大丈夫！
リモートでテレワークをすぐに開始

islonline

テレワーク利用 かんたんガイド

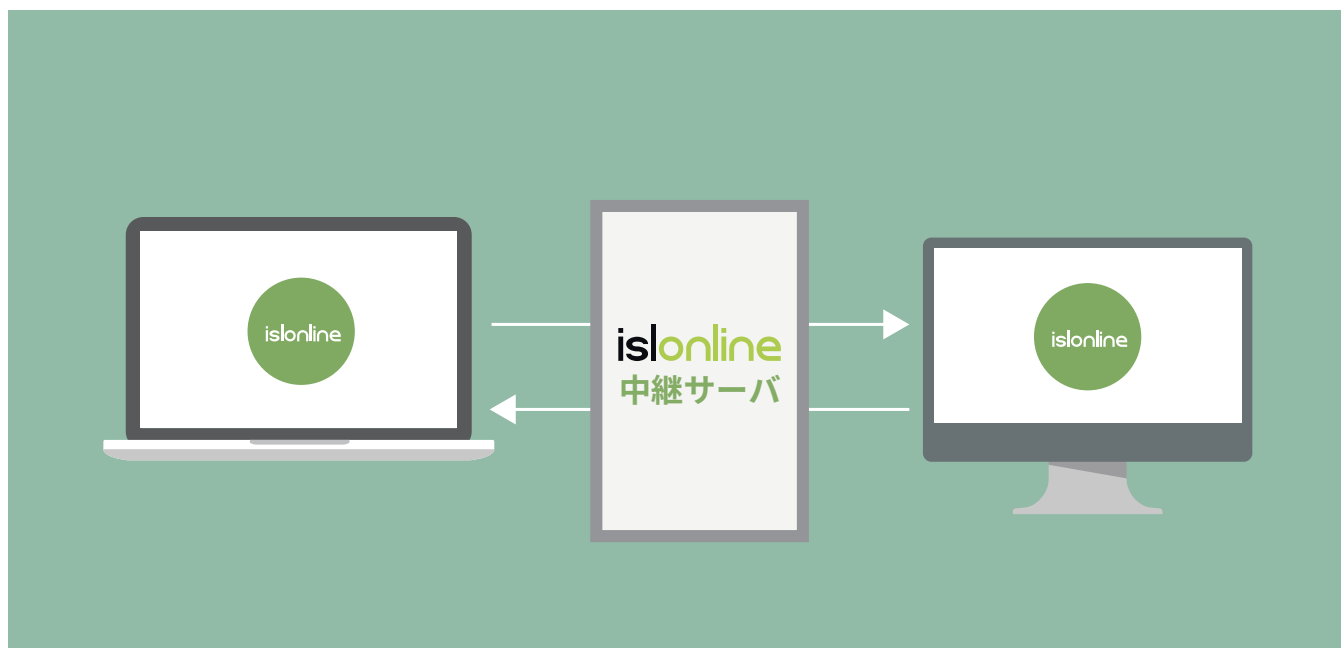


『テレワーク』での
ISL Online 利用のメリットをご紹介します

ISL Online とは	P2
テレワークで便利な常駐接続	P3
テレワークで ISL Online を利用するメリット	P4-5
実際に使ってみよう! 1	P6
実際に使ってみよう! 2	P7
実際に使ってみよう! 3	P8-9
実際に使ってみよう! 4	P10
ISL Light のオペレーター操作画面と主な機能	P11
便利な機能 セキュアなテレワーク運用のための制限設定	P12
便利な機能 2段階認証によるセキュリティ強化	P13
便利な機能 セッション再接続	P14
便利な機能 リモートで端末の電源を入れる	P15
まとめ	P16

ISL Online とは

ISL Online は、離れたところにあるデバイス（PC、スマートフォン、タブレット、サーバ等）とデバイスをネットワークでつないで操作することができる**リモートコントロールツール**です。



ISL Online はプログラムによって中継サーバーを経由し、セキュアに遠隔地の端末画面を「画像データとして」表示させます。それぞれのプログラムは中継サーバーまでしか接続できないため、中継サーバーを自社ネットワークまたは管理可能な場所に設置することで全通信を管理下におき、セキュアなリモートアクセス環境を構築できます。

社内ヘルプデスクやコールセンターの現場でサポートに利用されています。

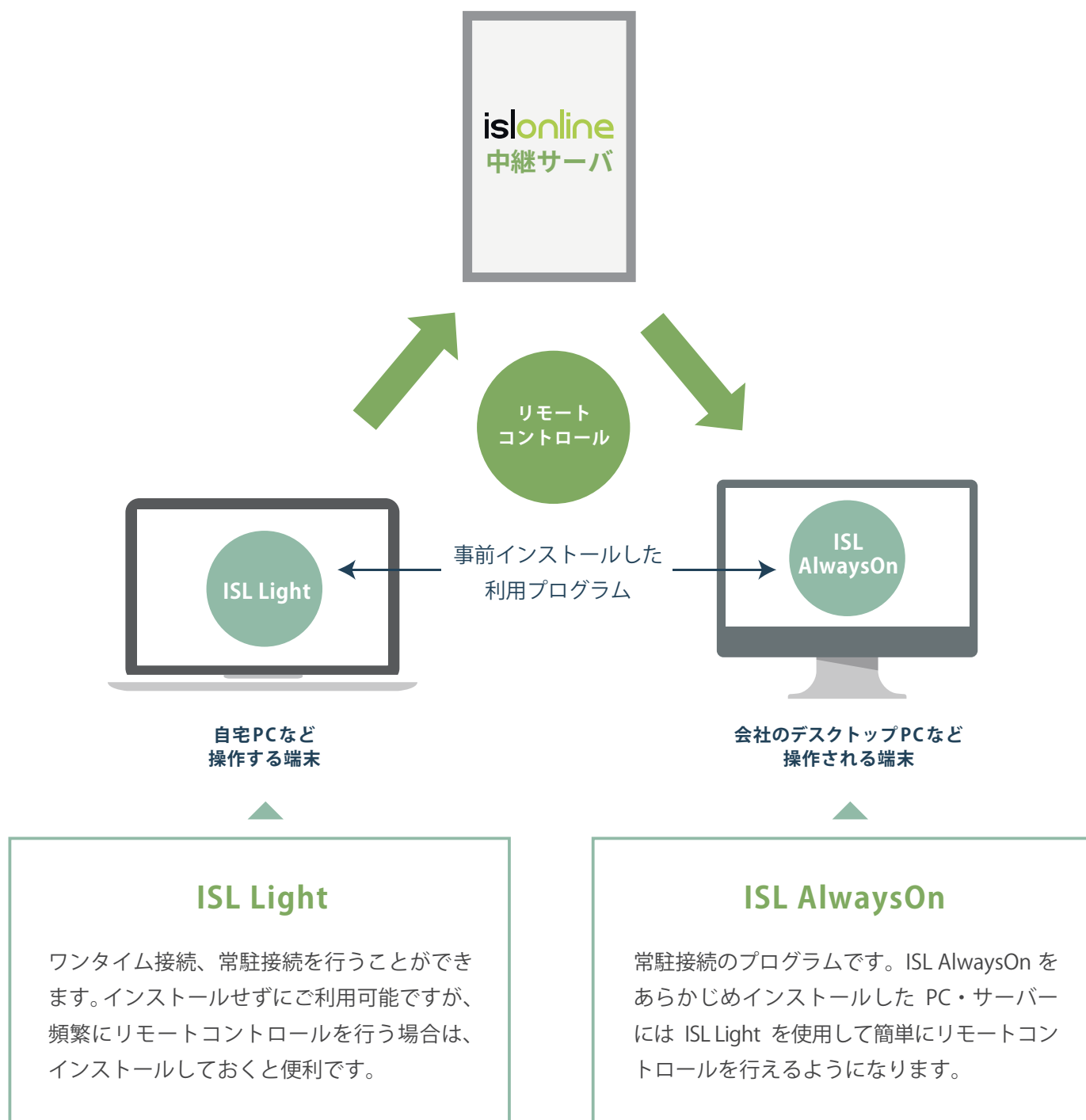
テレワークでも利用することができ従業員の業務改善に繋がるサービスとして、多くの企業様で採用が進んでいます。

本書では、テレワークのメリットを分かりやすく解説しており、**これさえ読めば、すぐに利用することができるようになります。**

テレワークで便利な常駐接続

● 常駐接続

プログラム（ISL AlwaysOn）をあらかじめ遠隔で操作したい端末にインストールし設定しておくことで、簡単にリモートコントロールを行うことができるようになります。



テレワークで ISL Online を利用するメリット

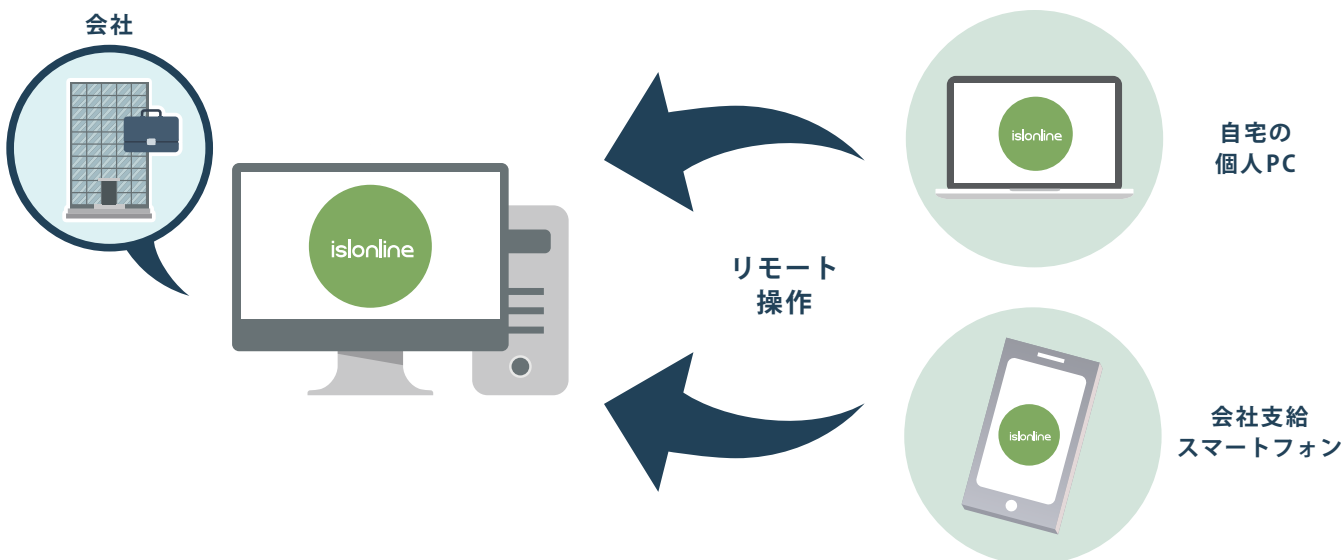
● 自宅からセキュアにテレワーク

会社のデスクトップ PC など、移動できない端末に自宅からリモートで接続して業務を行えます。



● すぐに始められる

追加で HW 機器を購入する必要がなく、既存のシステムを使ってすぐにテレワークを始められます。個人の PC や会社支給のスマートフォンから、リモートで会社 PC を操作できます。



● セキュリティ機能で安心

様々なセキュリティ機能により、BYOD 含めセキュアに運用できます。

本人確認
二段階認証

IP/Mac アドレス
制限

履歴確認

ファイルの送受信
禁止制御

テレワークで ISL Online を利用するメリット

● リモートで端末の電源を入れる

遠隔で Windows 端末を起動できます。会社内が無人でも端末の電源を入れてテレワークを開始できます。

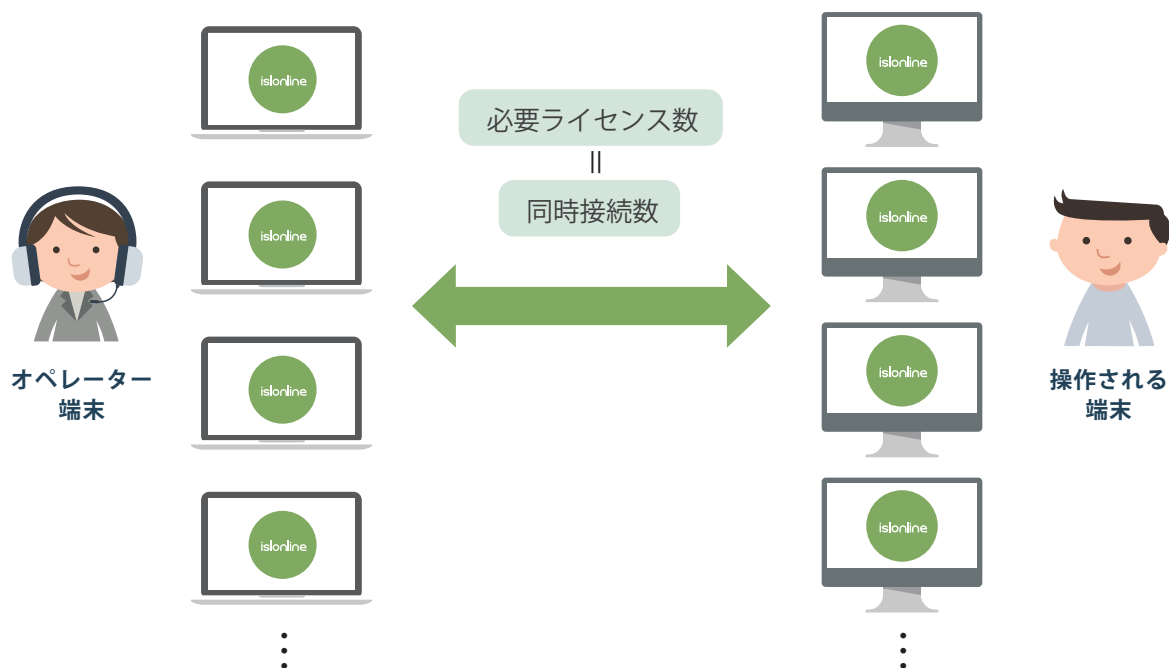
→ この Wake On LAN 機能は、ご利用頂くための条件がございます。
詳細は「常駐接続 (ISL AlwaysOn) Wake On LAN 設定ガイド」をご確認ください。

<https://www.oceanbridge.jp/isl/aon/manual/WolQuickGuide.pdf>



● 同時接続ライセンスなので低コスト

同時接続する数のライセンス分のご契約があれば良いため、低コストで運用できます。
オペレーター数やメンテナンスしたい端末数はいくつでも登録することができます。
テレワークを同時に使う人数分だけのライセンスで OK です。



例：最大同時接続 3 本なら 3 ライセンスのみの購入で OK

実際に使ってみよう！ ① (パブリッククラウドライセンス※)

※「パブリッククラウドライセンス」は、サーバー構築不要でインターネット接続できる環境があればすぐに利用できるライセンス形態です。他の「オンプレミスライセンス」や「プライベートクラウドライセンス」のライセンスについては別途お問合せください。

まずは体験版パブリッククラウドライセンス（15日間）のご登録が必要です。

(製品ライセンス版の使用を開始する場合も、最初に体験版を登録する必要があります)

✓ アカウントを作成しましょう

ISL Online をご利用いただく際には、アカウントの作成が必要となります。

アカウントを作成すると、無料体験版として 15 日間お試しいただけます。

また、ライセンス版の使用を開始する際には、このアカウントを引き続きお使いいただけます。

step1 メールアドレス・パスワードを「登録」

製品ページの右上にある [体験版お申込み] をクリックし、メールアドレスとパスワードを登録します。



step2 通知メールから「アカウントを認証」

登録したメールアドレスに通知メールが届きます。

メール本文内の [アカウントを認証] をクリックします。



step3 ユーザー情報を入力し「登録」

登録画面でユーザー情報を入力し、[登録] をクリックします。

(黄色の欄は必須項目です)

The screenshot shows the '設定' (Settings) registration form. The fields are as follows:

- Email: [Redacted]
- ✓ 認証済み (Verified)
- ユーザー名: [Redacted]
- 契約状況: 契約状況を選択してください (Select a contract status)
- 会社名: [Redacted]
- 役職: [Redacted]
- 部署: [Redacted]
- 氏名: [Redacted]
- 電話番号: [Redacted]

 At the bottom, the company information is listed:

- 株式会社オーシャンブリッジ (OceanBridge Inc.)
- 〒107-0051
- 東京都港区元赤坂一丁目5番12号
- 住友不動産元赤坂ビル7階

 The '登録' (Register) button is at the bottom right.

実際に使ってみよう! ②

✔ ログインしてみよう

アカウントの作成が完了すると、オンラインページにログインした状態となります。ISL Online 製品サイトの右上にある「ログイン」ボタンからもログインできます。

オンラインページの画面

各製品（ワンタイム接続、常駐接続、Web 会議）の利用、アカウント情報の管理・設定が行えます。



① **製品ページ** ISL Online の各製品を利用できます。（ワンタイム接続 / 常駐接続 / Web 会議）

② **アカウントメニュー**

ドメイン管理	管理者向けの画面を表示します。 (本機能はライセンス管理者とライセンス管理者が許可したユーザーのみ利用できます)※1
ユーザー	ユーザーの作成・管理を行います。 ユーザーごとに異なる権限を割り当てるなど、利用状況に応じて設定できます
履歴	ISL Online の利用状況（利用ユーザー、同時接続数、セッションの継続時間など）を確認できます。
プロフィール	ユーザー情報（Email、パスワード、氏名、ニックネーム）を変更できます。
ライセンス	ご契約中のライセンス情報を確認できます。ライセンスのアクティベーション（ライセンス版のご利用開始時 / 更新時）もこちらから行います
セキュリティ	2段階認証（多要素認証）の設定や、ISL Online のアカウントにアクセスした端末情報を確認できます。
オンプレミスライセンス	ISL Conference Proxy のサーバー登録などを行います。 (本機能はオンプレミスライセンスをお持ちのユーザーのみ利用できます)※2
ログアウト	オンラインページからログアウトします

※1: 詳細な利用方法は、ドメイン管理マニュアルをご参照ください
<https://islsupport.oceanbridge.jp/portal/ja/kb/isl-online/manual/administration>

※2: 詳細な利用方法は、ISL Conference Proxy 新規セットアップマニュアルをご参照ください
<https://www.oceanbridge.jp/isl/cp/manual/ISLOnlineServerManual.pdf>

実際に使ってみよう! ③

クライアント (操作される側)

🔧 テレワークで利用する場合の事前準備

「常駐接続 (ISL AlwaysOn)」の常駐モジュールをあらかじめメンテナンスしたい端末にインストールしておくことで、安全かつ迅速に接続できます。社外・自宅などの「場所」や、PC・タブレット・スマートフォンなどの「端末」とらわれずにアクセスできます。

「常駐接続 (ISL AlwaysOn)」設定方法

◆ クライアント (操作される側) 端末への ISL AlwaysOn のインストール

- 1 操作される側の端末で、オンラインページにログインします。(前ページ参照)
- 2 [常駐接続]→[常駐接続をセットアップ]→[このコンピューターを追加]をクリックすると、プログラム (ISL AlwaysOn の常駐モジュール) のダウンロードが開始されます。



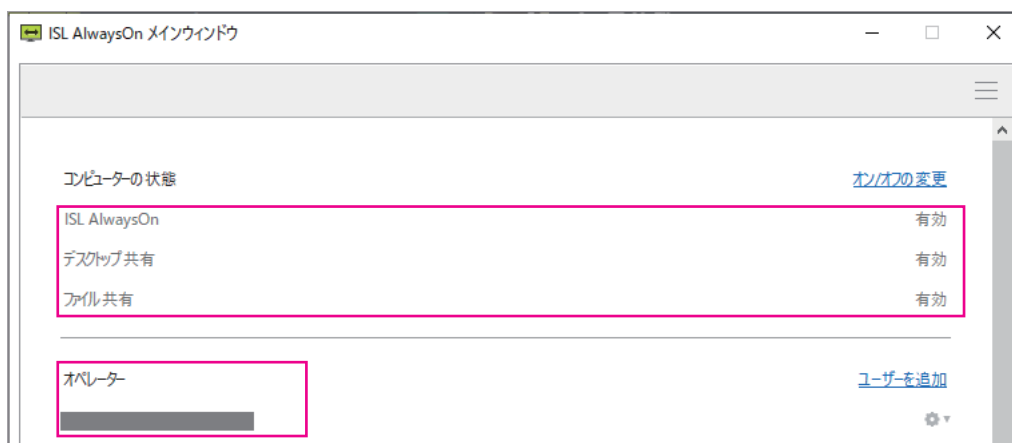
- 3 ダウンロードしたプログラムを実行し、インストールを行います。
[セットアップが完了しました]のメッセージが表示されたら、[完了]を選択します。
セットアップ完了後、端末にアクセスするためのパスワードの入力が求められます。半角英数 8 文字以上のパスワード (大文字小文字を区別します) を設定し、[アクセス許可]をクリックします。



- 4 タスクトレイのアイコンまたはスタート画面から [ISL AlwaysOn] を選択して、メインウィンドウを表示します。



- 5 「コンピューターの状態」のオプション（ISL AlwaysOn、デスクトップ共有、ファイル共有）が全て「有効」に、「オペレーター」に登録したユーザー名が表示されていればインストール完了です。「オペレーター」に何も表示されない場合は、前述の手順をもう一度行ってください。



これで、ISL Online 常駐接続のクライアント（操作される側）端末の準備が整いました。次ページから、実際にテレワークを開始する手順をご案内します。

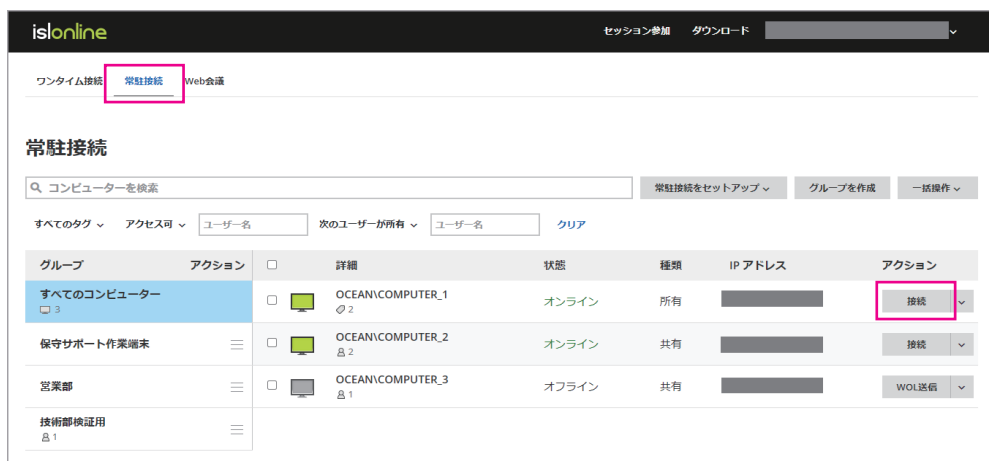
実際に使ってみよう! ④

オペレーター (操作する側)

🔧 テレワークを開始する手順

「常駐接続」開始方法

- 1 操作する側の端末からオンラインページにログインし「常駐接続」をクリックします。
- 2 ISL AlwaysOn がインストールされている端末の一覧が表示されます。
接続したい端末の [接続] を選択すると ISL Light プログラムがダウンロードされます。



- 3 ダウンロードされた接続用プログラム (ISL Light) を実行します。
- 4 Windows の場合、「セキュリティの警告」ダイアログが表示されることがあります。

ダイアログが表示された場合は、実行を選択します。

(設定環境や使用している ブラウザー により、表示されるダイアログが異なります)



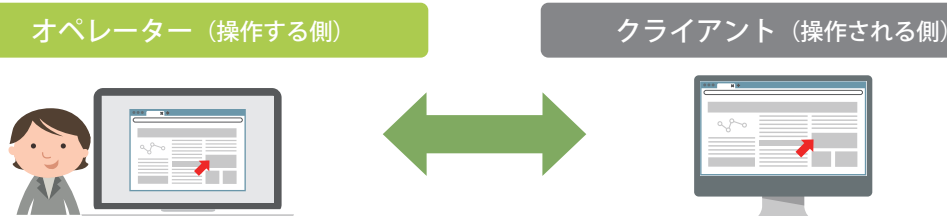
- 5 事前準備でクライアント端末で設定したパスワードを入力し、「接続」を選択します

※ パスワードの入力に5回失敗すると、プログラムが終了します。
再度プログラムを実行して接続を行ってください。

※ パスワードを保存するにチェックを入れた場合、次回以降パスワードの入力が不要になりますが、接続オプションは変更できなくなります。オンラインページのアクションあるいは設定よりパスワードを変更することで、パスワードの保存を解除できます。

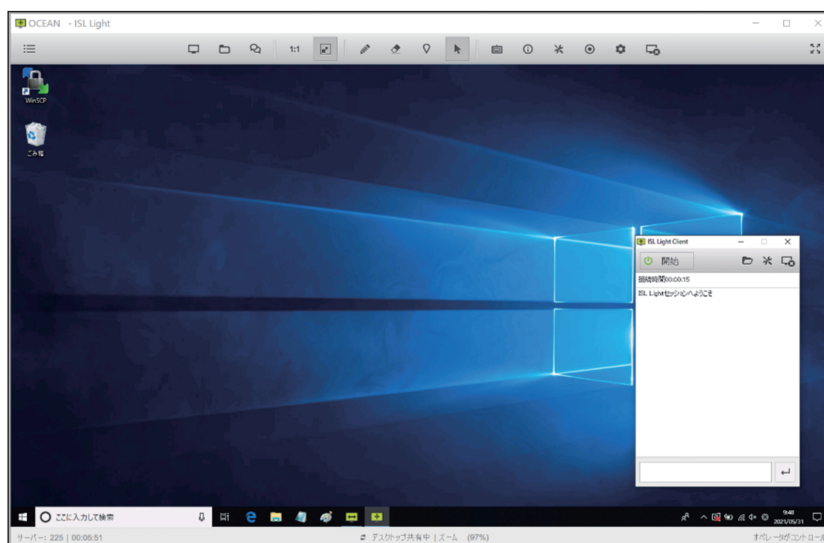


- 6 接続が開始され、デスクトップ共有が始まります。



ISL Light のオペレーター操作画面と主な機能

画面共有が開始されたら、自分の PC を操作しているかの様に遠隔で接続先端末を操作することができます。



● ツールバー



主な機能

画面を見る	接続先のデスクトップ画面を見る
画面を見せる	デスクトップ画面を接続先に見せる
キーボード&マウス操作	接続先のマウスを操作、キーボード入力
ファイル転送	ファイル/フォルダの送信・受信 (容量制限なし)
Ctrl+Alt+Del の送信	コマンドを実行してシステムを再起動する
ホワイトボード	画面上にペンで書き込む (双方向で可能)
スクリーンショット取得	接続先の画面キャプチャ画像を取得する
ブラックスクリーン	接続先の画面上に黒幕をはる
画面拡大・縮小	モニターサイズに合わせて画面サイズを調整
画面カラー数	回線速度に合わせて画面カラー数を変更可能
遠隔プリント	接続先のファイルを自身のプリンタで印刷
セッション再接続	接続先を再起動後、自動でセッションを回復
セーフモード再接続	接続先を再起動後、セーフモードで再開
エスカレーション	別のオペレーターにセッションを転送する
レコーディング	操作内容を動画データで保存する
テキストチャット	文字入力での会話 (画面共有開始前も可能)
音声・ビデオチャット	ヘッドセットとカメラを利用した会話

便利な機能 セキュアなテレワーク運用のための制限設定

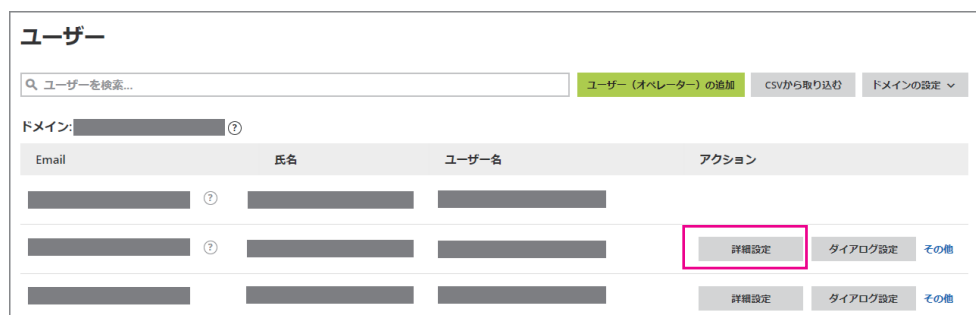
テレワークで外部から接続した端末のファイル転送を制限できます。セキュアなテレワーク運用が可能です。

オペレーター（ユーザー）のファイル転送の禁止方法

- 1 管理者アカウントでオンラインページにログインし、「ユーザー」を選択します。



- 2 登録したユーザーの [アクション] → 「詳細設定」を選択します。



- 3 詳細設定の中の「ファイル転送」の「ファイル受信」と「ファイル送信」を無効に設定し、一番下の「保存」を推すと、ユーザーのファイル送受信が禁止されます。



便利な機能 2段階認証によるセキュリティ強化

ユーザーのログイン時にパスワードに加えて、認証アプリ、電話番号、Emailのいずれかから取得できるセキュリティコードを利用して本人確認を強化できます。(認証アプリは Google Authenticator のみサポート対象です)

✓ 2段階認証を有効にしてセキュリティを強化しよう

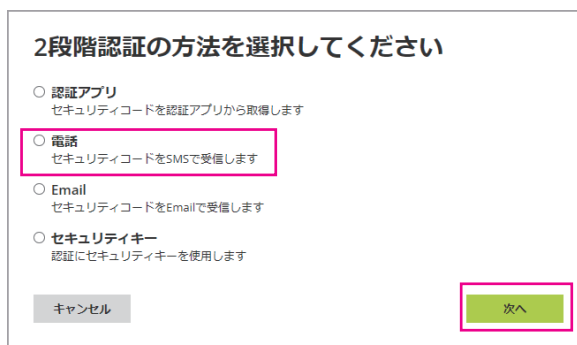
ここでは、電話番号での2段階認証の設定方法についてご紹介します。その他の設定方法はマニュアルをご参照ください。

step1 オンラインページにログインして [セキュリティ] をクリック



step2 [2段階認証] で [電話] を選択

[2段階認証] を選択し、2段階認証の方法から [電話] を選択して、[次へ] を選択します。



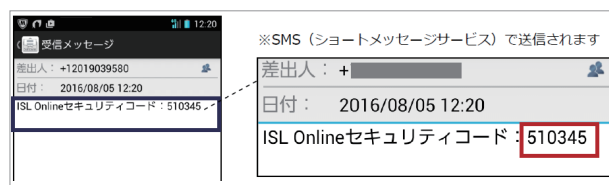
step3 電話番号を入力

セキュリティコードの送信先（携帯電話の番号）を設定して、[次へ] を選択します。



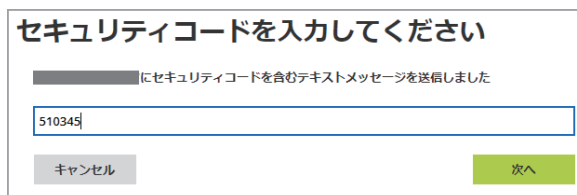
step4 セキュリティコードを確認

登録した電話番号にセキュリティコード（6桁）がSMSで送信されます。



step5 セキュリティコードを入力

受信したセキュリティコードを入力して、[次へ] を選択します。認証が完了すると設定が保存されます。

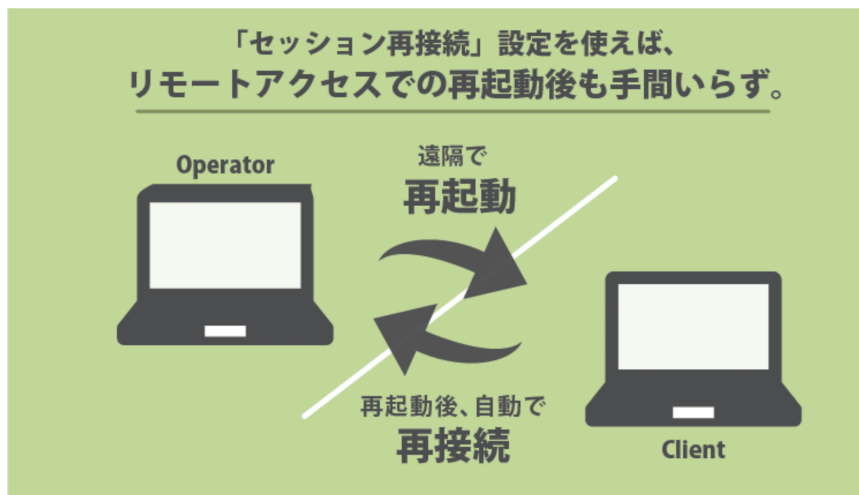


以降、設定したアカウントで ISL Online へログインすると、ログイン情報（ユーザー名およびパスワード）の入力に続いてセキュリティコードの入力が必要になります。セキュリティコードの有効期間は「2分間」です。

→ より詳しい情報はこちらのマニュアルをご参照ください
<https://www.oceanbridge.jp/isl/account/manual/AccountPageManual.pdf>

便利な機能 セッション再接続

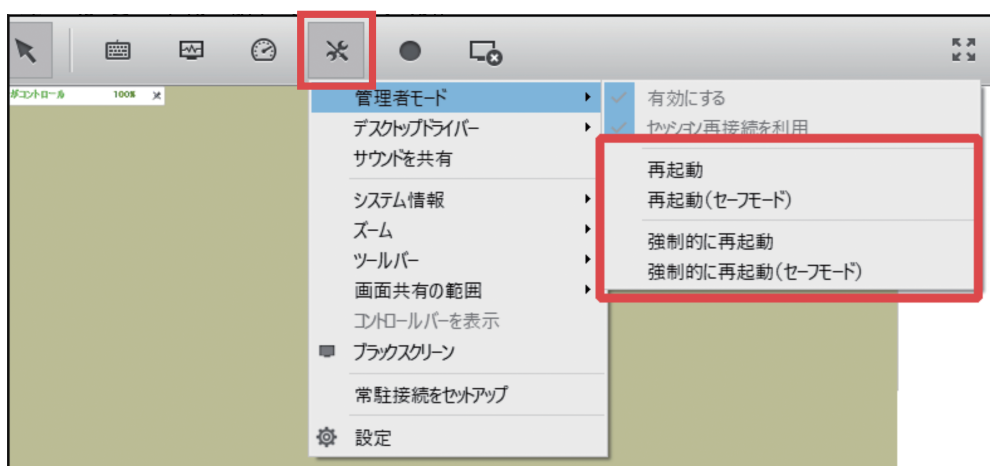
テレワーク中に端末の再起動が必要になった際に便利なのが「セッション再接続」です。再起動の度に接続をやり直す必要がなく、自動でセッションを回復してくれるので、作業効率向上につながります。オペレーター端末から再接続を指示することで、再起動後に自動でセッションに再接続を行います。



🖱️ セッション再接続の利用方法

- 1 オペレーター側の画面上の「ツール *」から、「管理者モード管モードを有効にする」「セッション再接続を利用」を有効にし、オペレーター側で「再起動」「シャットダウン」「スタンバイ」「ログオフ」「休止状態」を実行すると、クライアント端末の起動後（ログイン後）に自動で同じセッションに接続されます。クライアント端末が Windows の場合は、以下の方法から選択して再起動を行うことができます。

「再起動」 「再起動（セーフモード）」 「強制的に再起動」 「強制的に再起動（セーフモード）」



- 2 再起動後は自動でセッションが再開し、再起動前と同様にリモートでのコントロールが可能となります。（再起動からセッションが再接続するまでの間、オペレーター側が ISL Online を閉じたりセッションを終了してしまった場合は再接続は行われませんのでご注意ください。また、クライアント端末の再起動時に OS が立ち上がる前の認証工程がある場合、クライアント側で認証操作が必要です。）

便利な機能 リモートで端末の電源を入れる

Wake On Lan 機能の設定

Wake On LAN（以下 WOL）とは、ローカルエリアネットワーク（LAN）に Magic Packet（マジックパケット）を送信することで端末を遠隔で起動する技術です。

自宅などから会社にある「操作される側PC（Windows）端末」の電源を入れてテレワークを開始できます。

→ この Wake On LAN 機能は、ご利用頂くための条件がございます。
詳細は「常駐接続（ISL AlwaysOn）Wake On LAN 設定ガイド」をご確認ください。

<https://www.oceanbridge.jp/isl/aon/manual/WolQuickGuide.pdf>

ご利用条件

- ① 電源、マザーボード、OS が ACPI に対応している
- ② PCI バスからの電源投入にチップセットやバスに対応している
- ③ 内向き UDP ポート 2304 が解放されている
- ④ ルーターがブロードキャストアドレスを許可している
- ⑤ BIOS の設定で、Wake On LAN による起動を有効にする
- ⑥ 高速スタートアップを無効にする
- ⑦ ネットワークアダプター（カード）が Magic Packet を解釈し、受信できる
- ⑧ Magic Packet を送信する端末が対象端末と同一ネットワーク内に存在する

まとめ

このように、ISL Online はテレワークで便利に使えるツールです。



自宅でテレワーク

移動できない会社のデスクトップ PC を自宅から操作して業務を行うことができます。



すぐ開始できる

追加機器の購入も必要なくテレワークを開始できます。



安心安全

様々なセキュリティ関連の機能により、BYOD を含め安心安全に運用できます。



リモートで端末の電源を入れる

無人の社内端末を遠隔で起動してテレワークを開始することができます。



低コスト

従業員数ではなく同時接続数のライセンス購入で良いためコストを抑えられます。

是非、テレワークでご活用ください。
ご質問やご相談がございましたら、
お気軽にご連絡くださいませ。



islonline

株式会社オーシャンブリッジ

〒107-0051 東京都港区元赤坂一丁目5番12号住友不動産元赤坂ビル7階

TEL:03-6809-0967 FAX:03-6809-0976

www.oceanbridge.jp